

# 米国のナノテク戦略発案者

米ライス大学のスモリー教授は、ナノテクノロジー(超微細技術)のスター研究者だった。炭素原子がサッカーボールのように結合した分子「C60」を一九八五年に



リチャード・スモリーさん  
(ノーベル化学賞学者)

発見し、そのユニークな形状は世界を驚かせた。九六年には他の研究者とともにノーベル化学賞を受賞した。

「C60」などの炭素分子「フラーレン」はナノテクを代表する材料となった。世界中の大学や企業がフラーレンを使った新素材の開発や医療分野への応用研究に取り組んでいる。

もう一つのナノテク素

材「カーボンナノチューブ(筒状炭素分子)」で弟子の丸山茂夫東京大学も業績を上げた。スモリー教授は「スモリー教授は「スモリー教授が考案した製造法で非常に良質なナノチューブが量産できるようになり、教授が設立したベンチャーの製品が国際的に流通している。」

「C60」などの炭素分子「フラーレン」はナノテクを代表する材料となった。世界中の大学や企業がフラーレンを使った新素材の開発や医療分野への応用研究に取り組んでいる。

「C60」などの炭素分子「フラーレン」はナノテクを代表する材料となった。世界中の大学や企業がフラーレンを使った新素材の開発や医療分野への応用研究に取り組んでいる。

「C60」などの炭素分子「フラーレン」はナノテクを代表する材料となった。世界中の大学や企業がフラーレンを使った新素材の開発や医療分野への応用研究に取り組んでいる。

「C60」などの炭素分子「フラーレン」はナノテクを代表する材料となった。世界中の大学や企業がフラーレンを使った新素材の開発や医療分野への応用研究に取り組んでいる。

もう一つのナノテク素 た。スモリー教授の下 (10月28日没、62歳)